

【医療情報】新型コロナウイルス関連情報（5月11日現在）

【ポイント】

- 報道によれば、アルゼンチン国内では6,278名（昨日から244名増の累計感染者数、うち314名の累計死亡者数が報告されています）。
- なお、当国に居住、または短期的に滞在している方を対象とした、全国強制隔離措置（以下「強制隔離と記載」）（DNU 459／2020）が5月24日まで継続中です。また、非居住者の方々の入国の禁止も同日まで継続中です。また、ブエノスアイレス市においては外出時にマスク等で口元を覆うことが義務づけられており、違反した場合には罰金が科せられますのでご注意ください。
- 短期渡航者やご帰国予定がある皆様におかれましては、強制隔離およびそれに伴う国内移動制限の長期化、国際便の減少を念頭に、出国を希望する場合には各交通機関の運行状況等について、最新の情報の収集に努めてください。

【本文】

1 報道によれば、アルゼンチン国内では6,278名（昨日から244名増の累計感染者数、うち314名の累計死亡者数が報告されています）。

2 強制隔離の延長にかかる必要緊急大統領令（DNU）の公布

（1）8日夜に、大統領が発表した強制隔離の24日までの延長に関して、具体的措置を定めた必要緊急大統領令（DNU 459／2020）及び関連措置が本11日に公布されています。

（2）同DNUの内容は、8日夜の大統領発表に沿ったこれまで本領事メールでお知らせしてきたものです。なお、第15条において、国境の閉鎖措置（邦人を含む非居住者の入国禁止措置）も24日まで延長する旨規定されています。

3 強制隔離の新しい段階のスタート

昨10日に、1日の新規感染者数がアルゼンチン国内としては過去最多を記録したなかで、本11日から強制隔離の新しい段階がスタートしました。

感染者がいないか、または感染がそれほど深刻ではない各州では、それぞれの状況によって違いはあるものの、保健省のルールに従って商店がオープンし、スポーツのための外出が許可され、またレストランも営業等を開始しています。その一方で、国内の総感染者数の約7割を占め、感染状況が深刻なブエノスアイレス首都圏（AMBA）では、一部緩和措置はあるものの、厳しい強制隔離が継続されます。

4 強制隔離およびそれに伴う国内移動制限の長期化が見込まれ、見通しも不透明であるとともに、国際航空会社の多くが減便をしている現状から、短期渡航者やご帰国予定がある皆様におかれましては、マスクの着用、手洗いやうがいの励行などの感染予防に努めるとともに、出国を希望する場合には、各交通機関の運行状況等について最新の情報の収集に努めてください。（以上）